

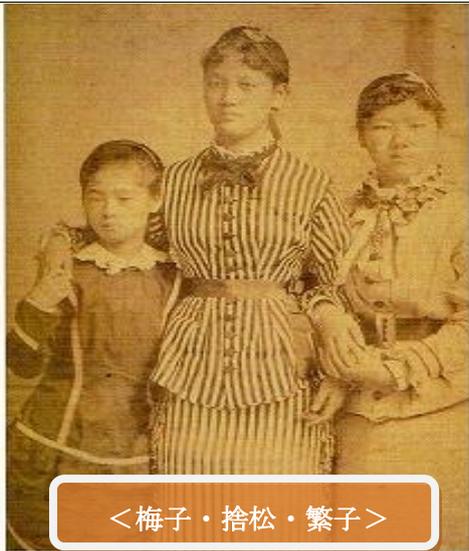
伊東東郷記念館



～3人の案内人によるカフェトーク～

続・日本最初の女子留學生物語

約150年以上も前にアメリカに渡った3人の少女達、永井繁子・津田梅子・山川捨松のそれらを、帰国後を中心に夢と現実の間で織りなす**3人3様**のしなやかな人生を語ります！



<梅子・捨松・繁子>

▲在米中の3少女。左から梅子、捨松、繁子。3人は自分たちを「トリオ」と呼び、姉妹のように接した。(津田塾大学津田梅子資料室所蔵)

<三人の少女：在米中の写真>



〈明治33年訪日したアリス氏を囲んで〉
・右より山川捨松・永井繁子・アリス・津田梅子

◎明治4年(1871年)11月22日、岩倉具視欧米使節団は、横浜を出港しアメリカに向かいました。

その船の中に、北海道開拓使が募集した「5人」の女子留學生が乗っておりました。

いずれも士族の娘で、吉益亮(14歳)、上田貞(14歳)、山川捨松(11歳)、永井繁子(10歳)、津田梅子(6歳)の少女たちです。

◎亮と貞は病気のため1年で帰国し、繁子は予定通り10年間アメリカで学んで帰国します。

繁子の別荘は、何とこの伊東にありました。**しかも東郷別荘の近所です。(瓜生邸)**

捨松と梅子は11年間学び、トップクラスで卒業しました。

◎帰国した彼女たちを待ちうけていたものは何だったのか。日本の近代化に貢献しようと決意した女性の地位向上を描き、努力する姿は、現在の男女共同参画社会に繋がります。

2017年

12月19日 (火)

*午前の部 10:30～12:00

*午後の部 13:30～15:00

【約90分】(同じ内容です)

※場所：伊東東郷記念館
(旧東郷別荘)

→「藤の広場」から東郷小路を
歩いて100mほど

※申込み＝事前の申込みは必要なし

※入館料：お一人様200円

※問合せ先：伊東自然歴史案内人会
(電話：0557-37-3550)